資料３

山梨県における富士登山の適正化について

令和８年６月８日

山梨県
観光文化・スポーツ部
富士山観光振興グループ
富士山観光振興監　三枝 徹

○登山規制の実施まで

○令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

○令和７年度（規制２年目）実施結果

○アンケート結果

登山規制の実施まで

富士山吉田口ルートの概要

- 開山期間は例年**7月1日～９月10日（７２日間）**
- 令和７年度は142,814人が登山
  ※6合目数値

お鉢巡り（富士山の頂上一周）は約90分

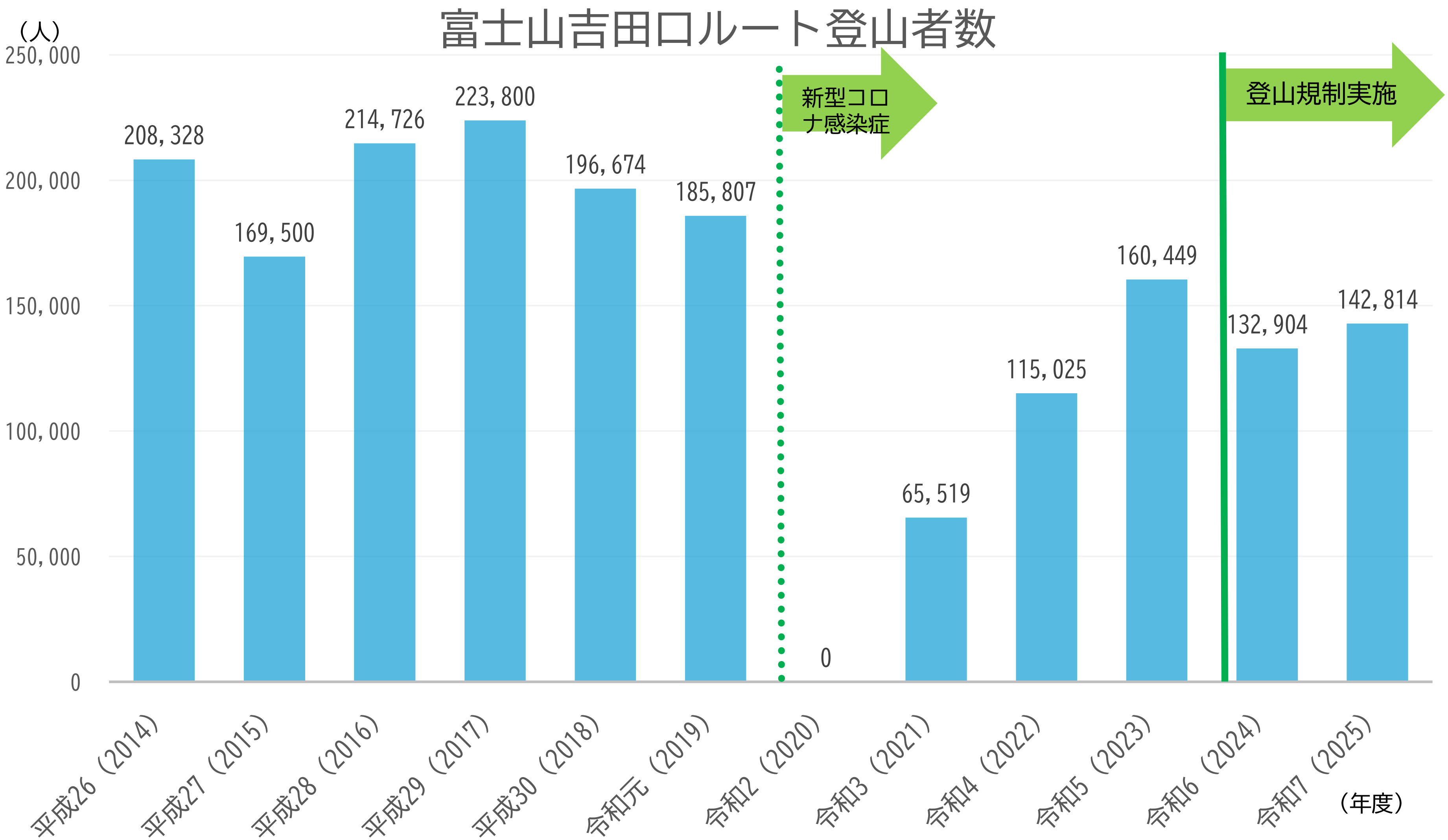
標高 3,715m

登り歩行時間目安　６時間10分・約6.8km

下り歩行時間目安　４時間５分・約7.0km

富士スバルライン五合目
標高 2,305m
（バス等でアクセス可）

登山規制の実施まで



資料）６合目数値（富士吉田市調べ）

登山規制の実施まで

背景

○山頂付近の過度な混雑。夜間に休憩を取らずに一気に山頂を目指す弾丸登山

○登山道における仮眠道はずれなどなど安全を脅かす行為やマナーの悪化

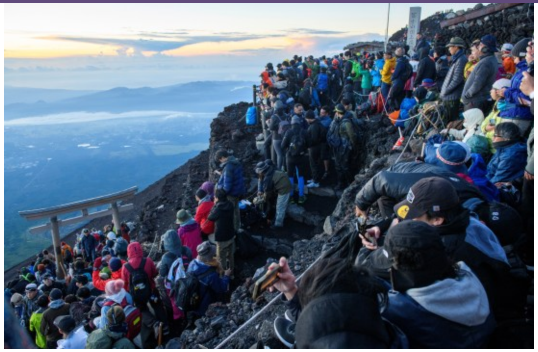
○富士山のオーバーツーリズム対策は、平成２５年度の世界文化遺産登録時の課題の一つ（ex.上方の登山道の来訪者管理）

○地元市町村や関係団体から登山規制についての要望（令和５年５月・６月）

○登山の環境保全・安全対策費用（平成２５年度から「富士山保全協力金」として寄附制度実施。金額・徴収率に課題）

登山規制の実施まで

解決すべき課題



○危険等の是正

◆明け方の山頂などの過度な混雑

※特定の日・時間帯・箇所に著しい混雑が発生

◆夜間に休憩を取らずに一気に山頂を目指す弾丸登山

◆登山道における仮眠や道はずれなど安全を脅かす行為やマナーの悪化

○県負担の軽減

◆富士山の安全対策費用を主に県が負担

◆富士山を安全・快適に登山できることは登山者の利益
安全対策の費用を受益者が負担することはあるべき姿

登山規制の実施まで

方策

○令和５年８月から本格準備、並行して地元関係団体等に説明

○令和６年３月に次の条例を制定、施行

◆山梨県富士山における登山の適正化に関する条例

◆山梨県富士山吉田口登下山道設置及び管理条例

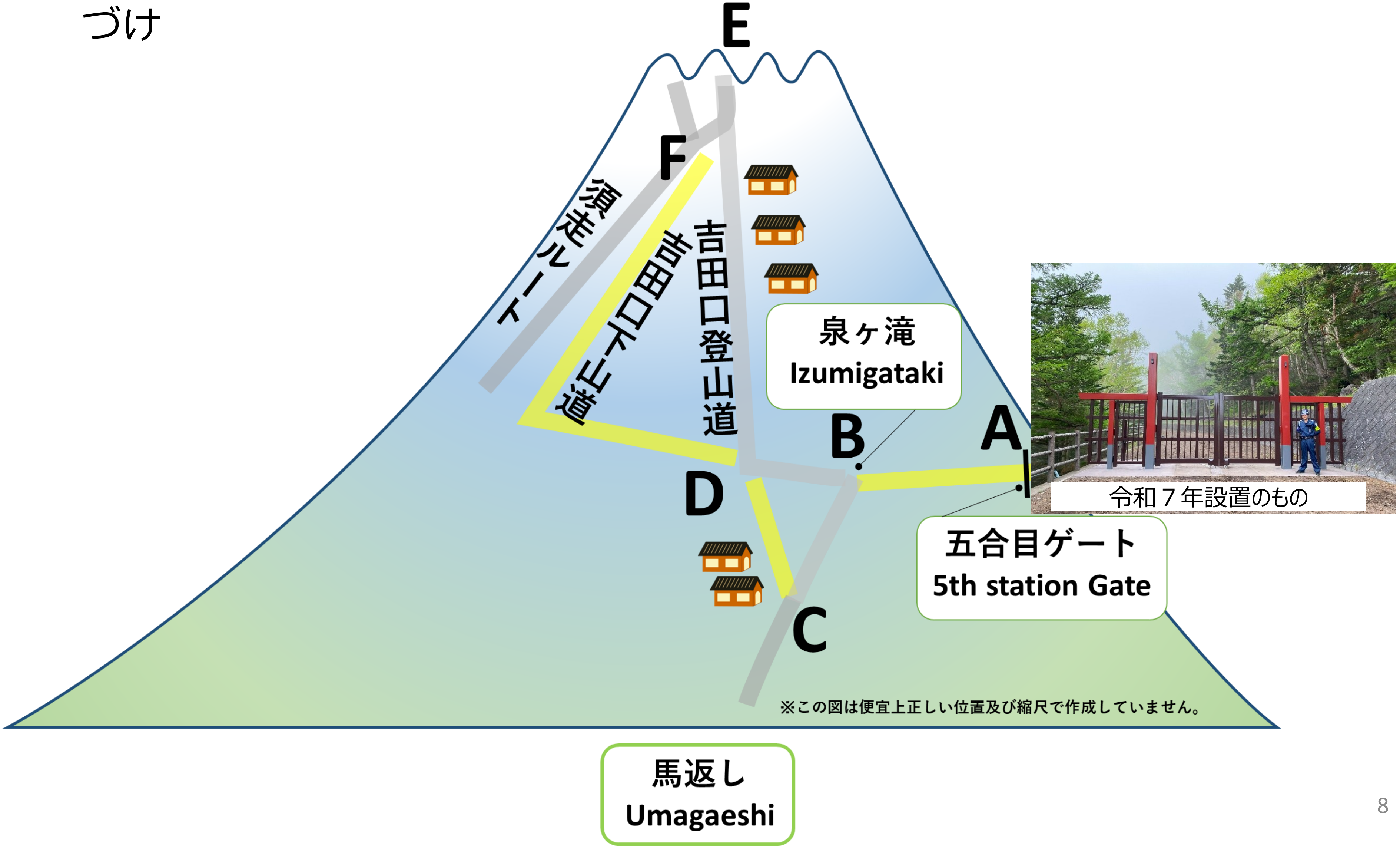
○県・登山者等の責務、富士登山適正化の措置を規定

○登下山道を県の公の施設として位置付け

○富士山五合目の登山口に登山者を規制するゲートを設置し、通行人数・時間の規制、使用料徴収を実施

登山規制の実施まで

- A−B、C−D、F−Dを富士山吉田口県有登下山道を公の施設として位置づけ



登山規制の実施まで

具体的措置

○一日当たりの上限の数を超える場合における通行の禁止
（人数規制：原則4,000人を上限）

○規則で定める時間帯における通行の禁止（時間規制：午後４時～翌日３時まで通行禁止）
- 登山者の過度の集中及びこれにより生ずる危険を防止

○登山道及びその周辺における巡視・監視・指導の強化
（富士登山適正化指導員）
- 登山者の生命・身体に危険な行為を防止

○施設の維持・管理等経費として約3億円と見込み、登山者数を15万人と想定して、通行料を一人2,000円と設定（料金は1種類のみ）

令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

規制内容

○登山道入り口仮設ゲートの設置・通行規制

【時間規制】午後４時から午前３時までゲート閉鎖
【人数制限】１日の登山者数４，０００人まで
※上記については、いずれも山小屋宿泊者は除く

【通行料の徴収】 ２，０００円/人
※この他に、富士山保全協力金1,000円/人（任意）

（五合目ゲート）

（料金所）

令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

成　果

■ 登山者・弾丸登山者数

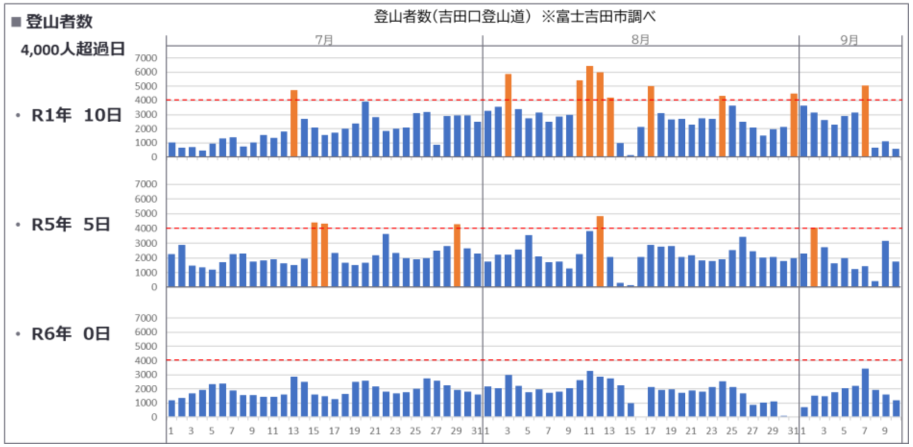
	R５	R６
登山者数	160,449人	132,904人
夜間登山者数（19時-24時）	14,469人	708人

登山者数：▲17.2%
夜間登山者数：▲95.1%

資料）6合目数値（富士吉田市調べ）
※夜間登山者数は安全指導センター前数値

■ 混雑の偏り

1日4,000人を超えた日：0日（R5:5日）



令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

結　果

令和６年度【山梨県富士山吉田口県有登下山道】

許可者数　149,701人　（免除者を除く許可者数　148,913人）

使用料徴収額　297,826,000円

※許可者数とは、県有登下山道を使用した者の総数。一合目からの登山者及び静岡県側からの下山者を含む。

※免除者とは、障害者など条例により使用料を免除される者。

許可者数合計（人）			149,701
	通行予約システムによる事前許可者		64,443
		山小屋宿泊者	30,405
		日帰り登山者	34,038
	当日許可者		72,143
		山小屋宿泊者	58,511
		日帰り登山者	13,632
	一合目からの登山者及び静岡県側からの下山者		12,327
	減免対象者		788

【山梨県富士山保全協力金】

協力者数　60,957人

（令和５年度　103,809人）

協力金受入額　60,920,790円

（令和５年度　103,672,726円）

協 力 率　53.1%

（令和５年度　75.6%）

※60,957人（協力者数）÷114,857人（登山者数：環境省）×100＝53.1%

令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

結　果

令和６年度　富士登山対策関係経費決算額　※決算は関係者に報告しＨＰで公開

収入		
	使用料（利子含む）	297,938,194 円
	協力金（利子含む）	60,946,766 円
	その他財源（地方債・国補助金・組織内の内部補助）	71,464,841 円
	合計	430,349,801 円
支出		
	施設の維持管理・安全対策・規制実施の費用	430,349,801 円

- ➢ 使用料だけでは維持管理等の費用に不足
- ➢ 初年度を踏まえた対策強化費用、将来の災害復旧対応に向けた積立金など追加の経費も必要
- ➢ 必要な支出を賄うに足る収入確保に向け使用料引上げを検討

令和６年度（規制１年目）実施結果と対応

料金に関する検討

○災害復旧積立金を含め施設の維持管理等に必要な経費を積算

- 例：必要経費500,000千円

○アンケートから一定の仮説のもと、金額と金額に応じた想定来訪者を推計

- 例：3,000円 → 150,000人 （450,000千円）
  4,000円 → 125,000人 （500,000千円）
  5,000円 → 110,000人 （550,000千円）

○必要経費を過不足なく賄える単価として、令和7年度の使用料を4,000円と設定（料金は1種類のみ）

令和７年度（規制２年目）実施結果

結　果

令和７年度【山梨県富士山吉田口県有登下山道】

許可者数　**149,713人**〔対前年比：100.0%〕

使用料収納額　**591,384,000円**　（令和６年・297,826,000円の98.5%増）

			R7	R6	R7/R6
許可者数合計			149, 713	149, 701	100. 0%
	通行予約システム事前許可者		67, 655	64, 443	105. 0%
		山小屋宿泊者	31, 193	30, 405	102. 6%
		日帰り登山者	36, 462	34, 038	107. 1%
	当日許可者		79, 446	72, 143	110. 1%
		山小屋宿泊者	57, 785	58, 511	98. 8%
		日帰り登山者	21, 661	13, 632	158. 9%
	一合目からの登山者及び静岡県側からの下山者		745	12, 327	6. 0%
	免除者		1, 867	788	236. 9%

令和７年度（規制２年目）実施結果

■ 登山者・弾丸登山者数

	R５	R６	R7
登山者数	160,449人	132,904人	**142,814人**
夜間登山者数 （19時-24時）	14,469人	708人	**542人**

R５→R６：登山者数 ▲17.2%、夜間登山者数 ▲95.1%
R６→R7：登山者数 7.５%、夜間登山者数 ▲23.4%

資料）6合目数値（富士吉田市調べ）
※夜間登山者数は安全指導センター前数値

■ 利用者の意向把握

登山者に対し登山規制や使用料についてのアンケートを実施し、来訪者の意向を把握（令和６年度より）

令和７年度（規制２年目）実施結果

結　果

令和７年度　富士登山対策関係経費決算額　※決算は関係者に報告しＨＰで公開

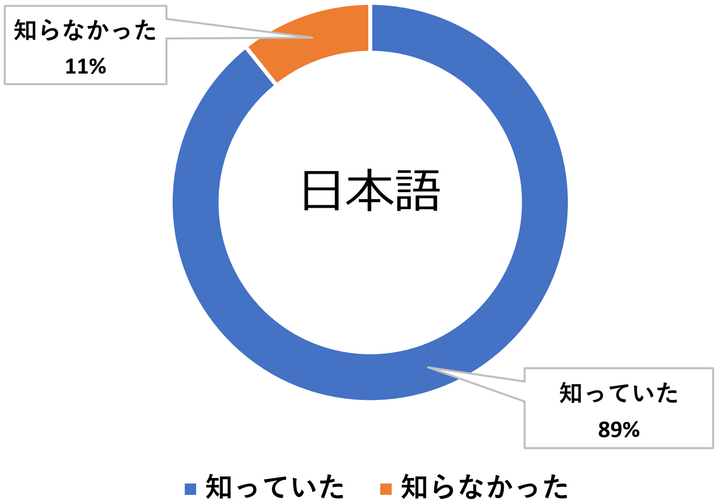
収入		
使用料（利子含む）		592,216,000 円
その他財源（地方債等）		76,476,254 円
	合計	668,692,254 円
支出		
施設の維持管理・安全対策 ・規制実施の費用 ＋災害復旧積立金等		668,692,254 円

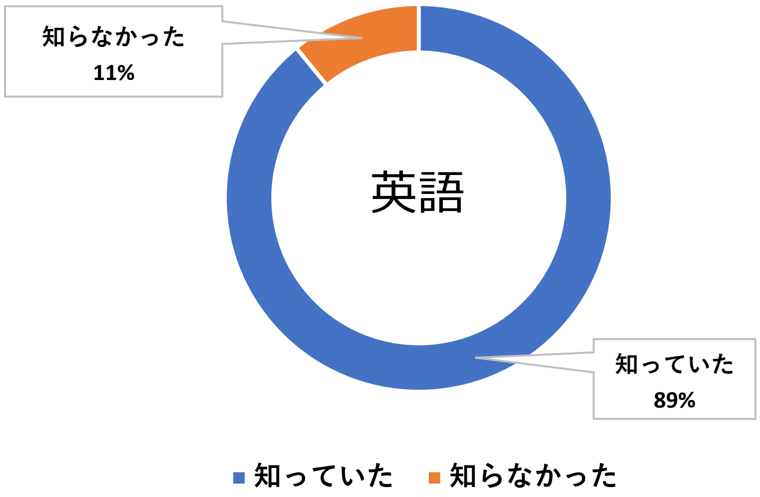
- 使用料で災害復旧積立金等を含め必要な支出を賄うことができた
- 令和８年度予算については、五合目救護所への医師の配置など、安全対策をさらに強化の予定

アンケート結果

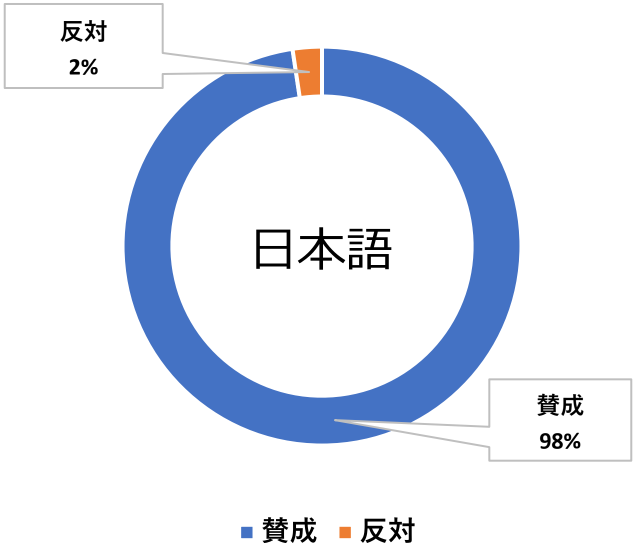
令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　日本語：6,508　英語：3,066

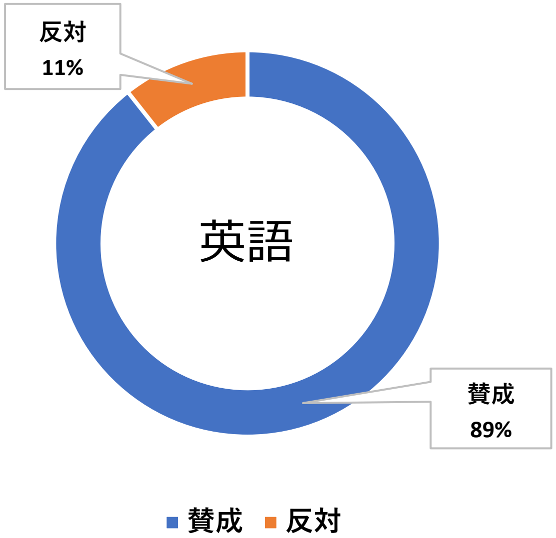
○富士登山の規制（人数規制、時間規制）の事を知っていましたか？





○富士登山の規制について賛成ですか？反対ですか？

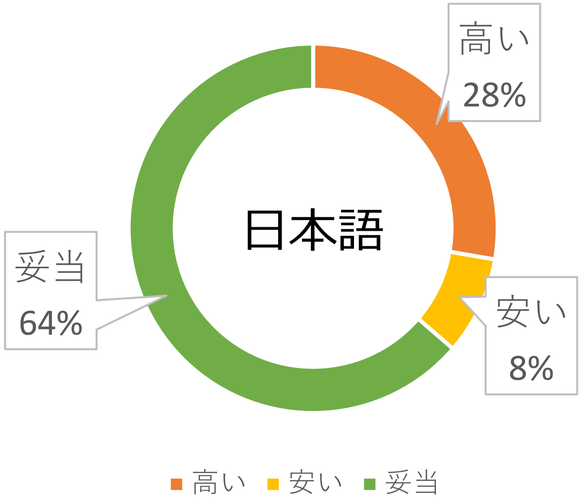


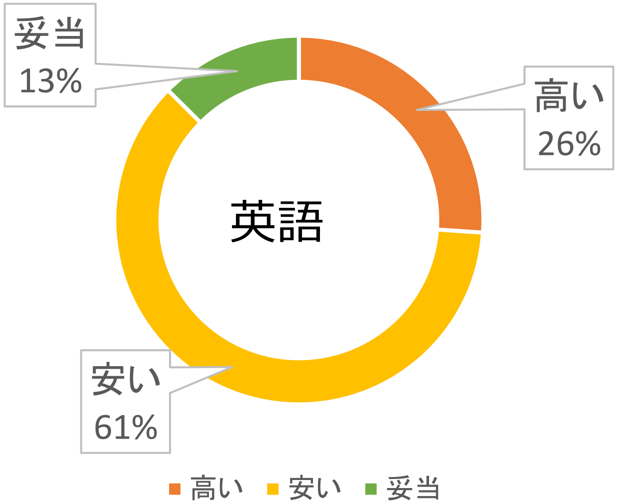


アンケート結果

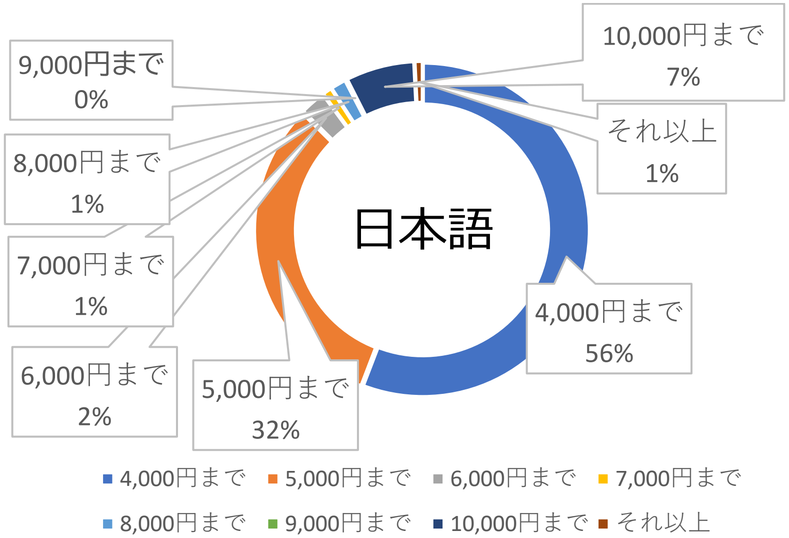
令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　　日本語：6,508　英語：3,066

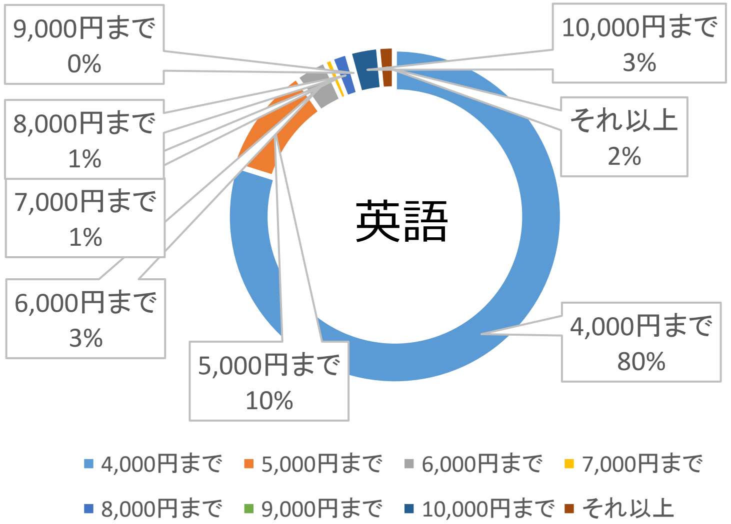
○通行料の金額（４千円）は高いと思いますか、安いと思いますか。





○通行料をいくらまでなら払おうと思いますか。？

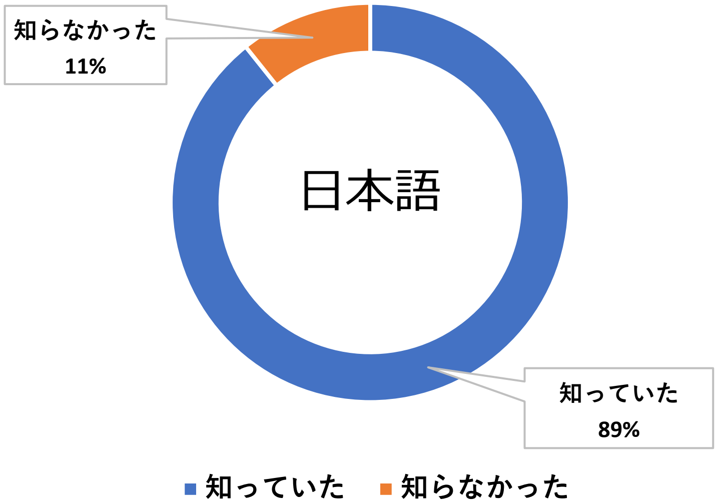


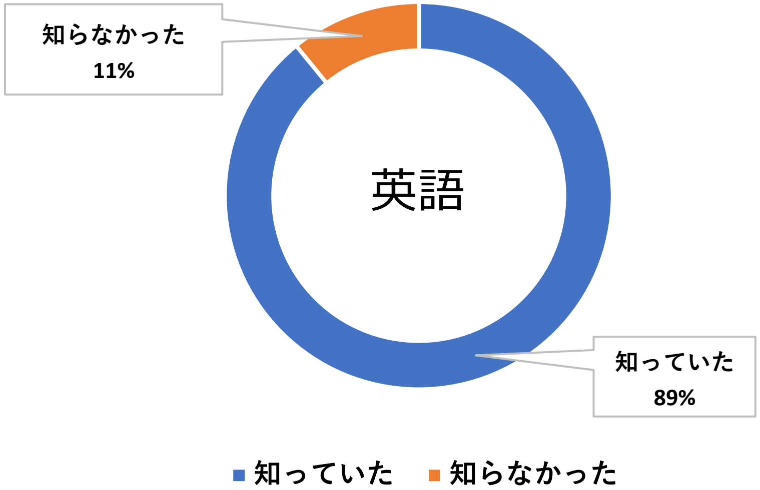


アンケート結果

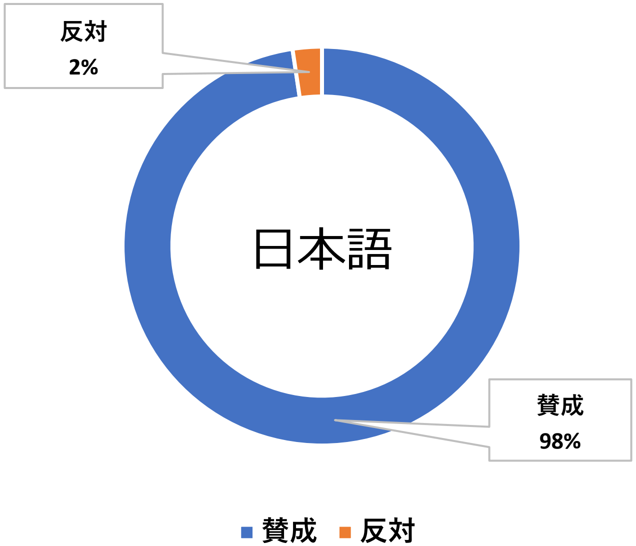
令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　日本語：6,508　英語：3,066

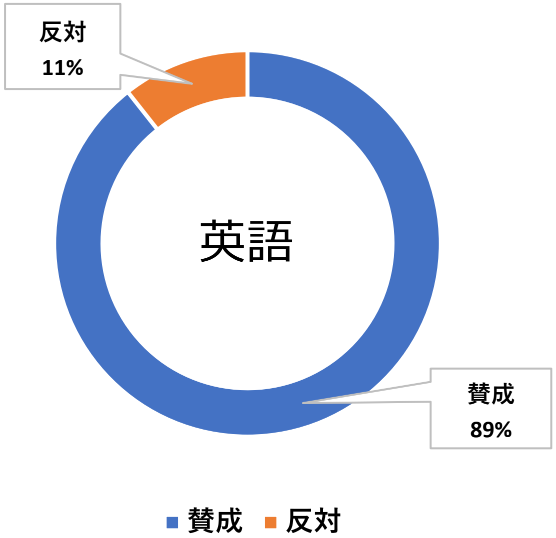
○富士登山の規制（人数規制、時間規制）の事を知っていましたか？





○富士登山の規制について賛成ですか？反対ですか？

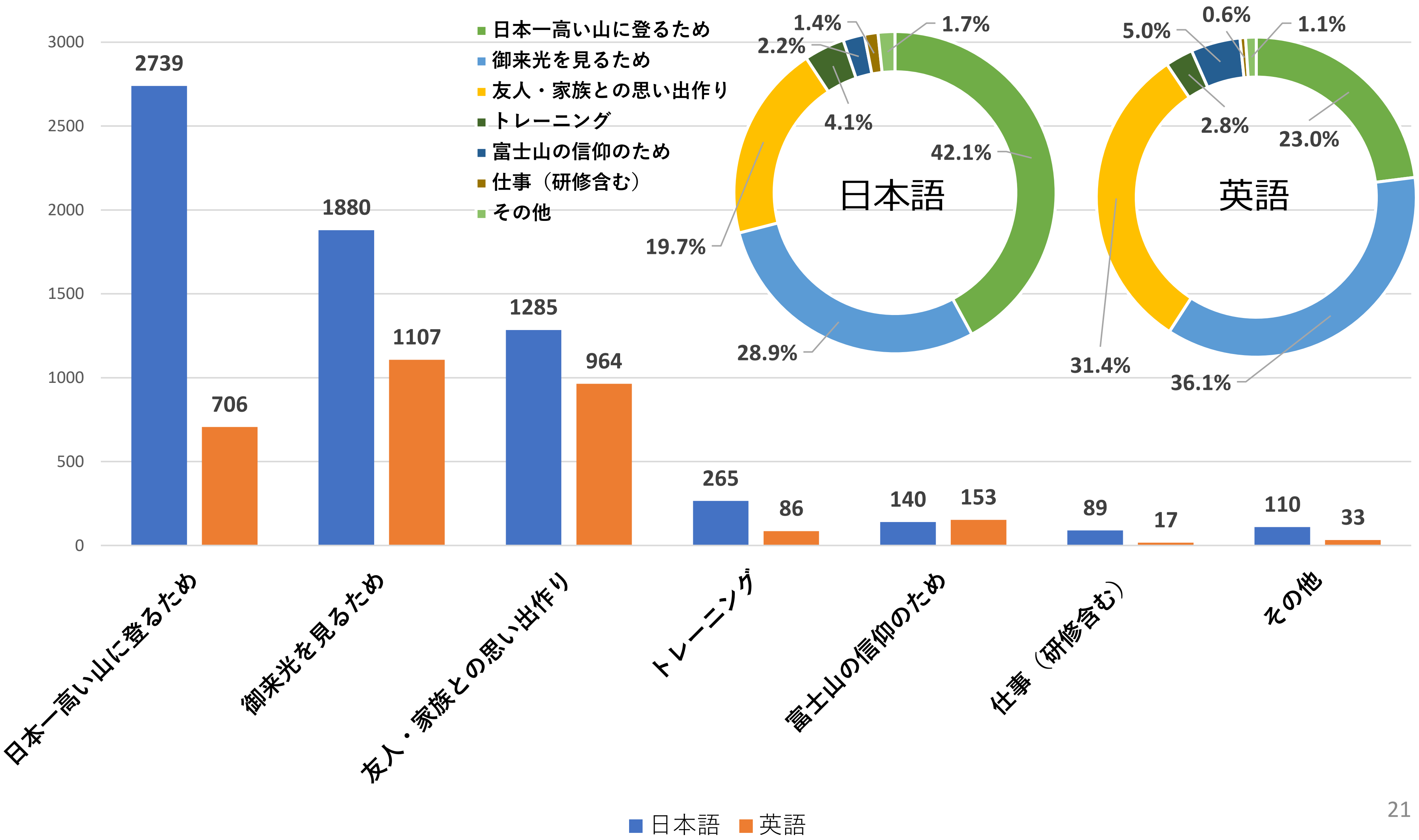




アンケート結果

令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　　日本語：6,508　英語：3,066

○富士山に登る一番の目的を教えてください。

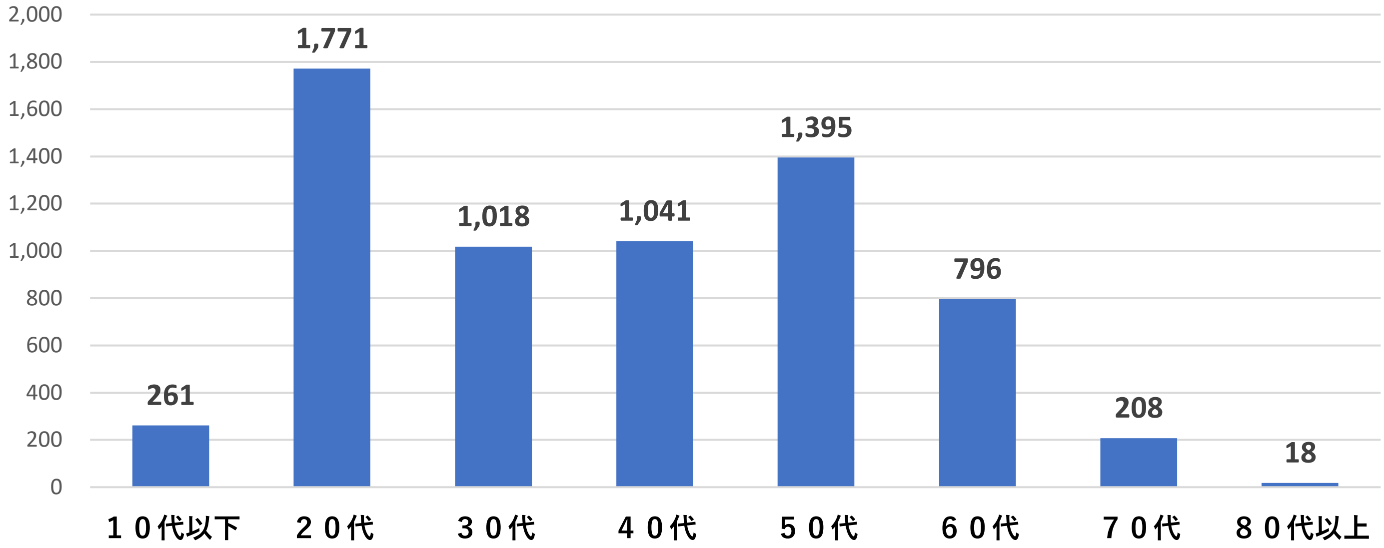


アンケート結果

令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　日本語：6,508　英語：3,066

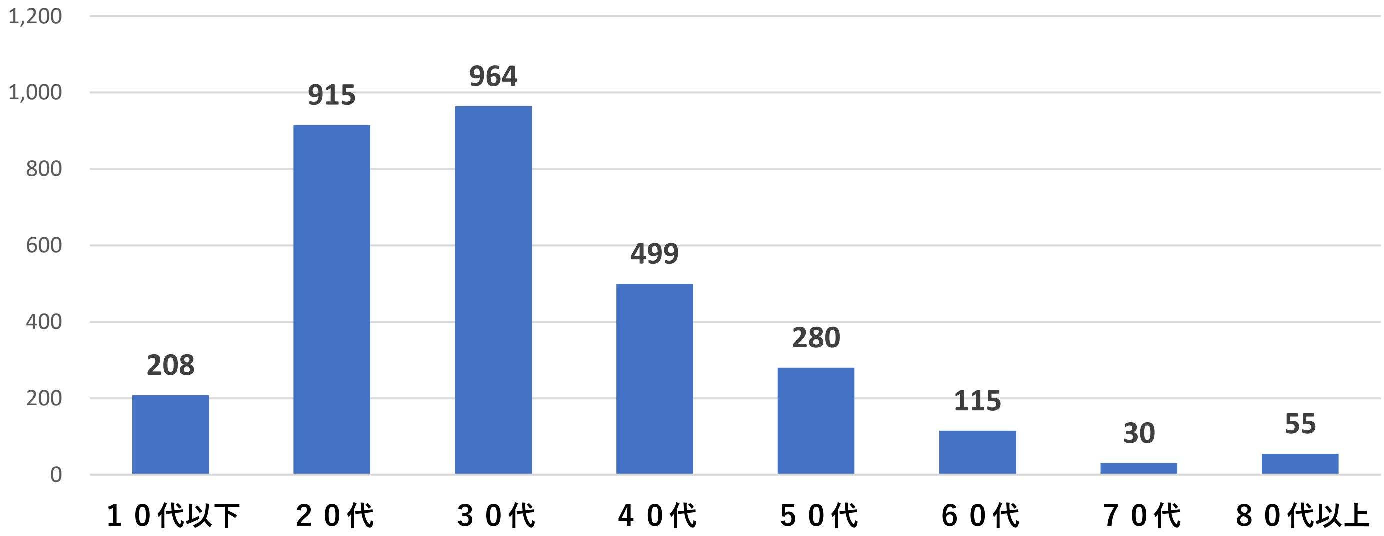
○年代（日本語）

10代以下	4.0%
20代	27.2%
30代	15.6%
40代	16.0%
50代	21.4%
60代	12.2%
70代	3.2%
80代以上	0.3%



○年代（英語）

10代以下	6.8%
20代	29.8%
30代	31.4%
40代	16.3%
50代	9.1%
60代	3.8%
70代	1.0%
80代以上	1.8%

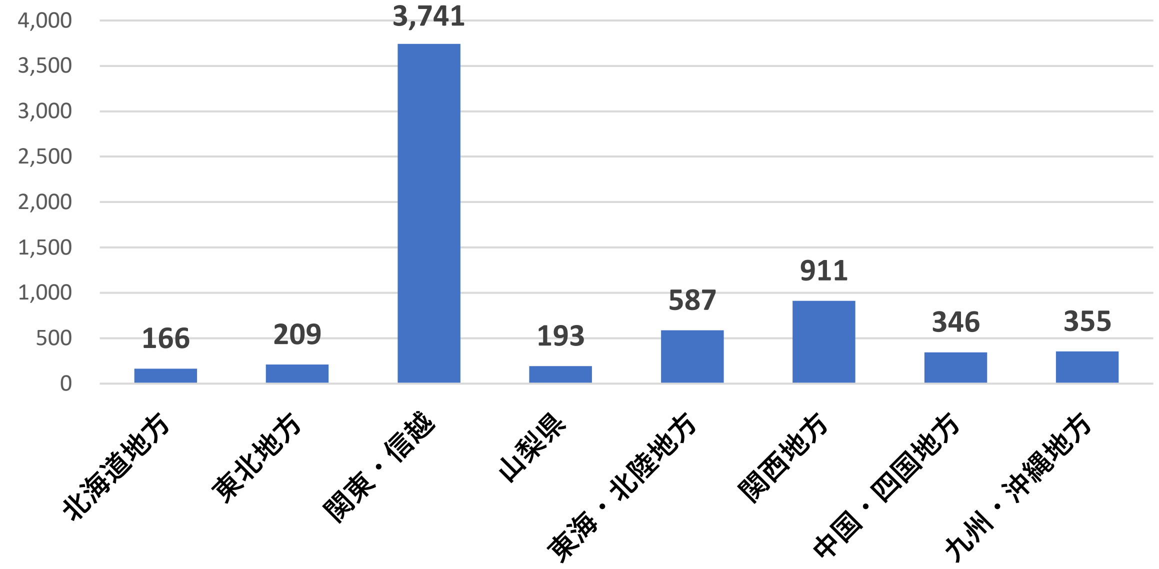


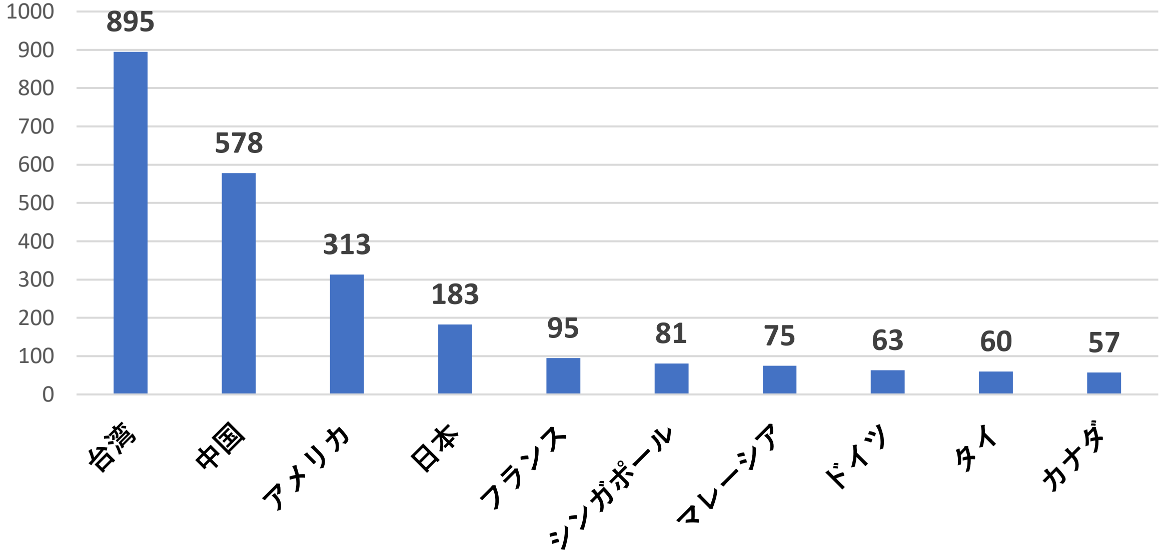
アンケート結果

令和７年度開山期間中登山者に対して五合目で実施したアンケート　日本語：6,508　英語：3,066

○どこから来たか（日本語）

北海道地方	2.6%
東北地方	3.2%
関東・信越	57.5%
山梨県	3.0%
東海・北陸地方	9.0%
関西地方	14.0%
中国・四国地方	5.3%
九州・沖縄地方	5.5%



○どこから来たか（英語）
※10位まで

台湾	29.2%
中国	18.9%
アメリカ	10.2%
日本	6.0%
フランス	3.1%
シンガポール	2.6%
マレーシア	2.4%
ドイツ	2.1%
タイ	2.0%
カナダ	1.9%